

- ◆企画名 ほっこり相談室
 日 程 2016年4月～2017年3月
※期間中、(9月まで)月水金(10月から)月火木に開室
 場 所 総合学生会館凜風館1階 サポーターズルーム
 参加者数 14名(ピア・サポータ12名、研修生2名)
 目 的

大学という環境に上手になじむことができず、大学を自分の居場所とすることに困難を抱えている学生が抱える「大学内に安心できる居場所がない」「誰かに話を聴いてほしい」という様なニーズに応えるため、より身近な立場で話を聴くことが目的であった。

内 容

本事業では、同じ関西大学の学生が相談員を務める「ほっこり相談室」を開室し、全4回のKUサポーターズ自主トレーニングを受けたメンバーが相談員として対応した。また、開室には2人以上の相談員の確保を必須とし、1回の相談時間は最大60分とした。開室時間増加を図るため、10月からは開室曜日を変更した。

効 果

さまざまな相談内容を想定した自主トレーニングの効果もあり、利用者ひとりひとりのニーズに応えることができたと思われる。「安心できる居場所の提供」や「話を聴く」という目的の事業であったが、利用者にとっては、ほっこり相談室で過ごす時間がより良い大学生活への一歩となったのではないかと。

改 善 点

本年度の利用は9件と、例年と比べ少なかった。メンバー不足による開室時間の減少や例年より広報活動が少なかったことが原因であると考えられる。メンバーの募集や広報活動の充実を改善し、より良い事業としたい。また、例年問題とされるKUサポーターズ及びほっこり相談室認知度の低さについても来年度以降の課題として残った。

感 想

本事業は、KUサポーターズの軸となる活動として6年にわたり継続しているため、KUサポーターズの内部事情や時代の変化に伴い、メンバーや利用者にとってより良い事業とするためにマイナーチェンジを繰り返してきた。今後は伝統を大切にしながらも、更なる発展のために定期的に制度を見直す機会を作っていきたい。

